



- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・がんばる子



前期の前半に感謝する日！



今日で、71日間の前期の前半が終了しました。新入生11名を迎えて47名でスタートした平成28年度前期。大きな事故・怪我もなく、無事この日を迎えることができたことをうれしく思っています。また、前期前半は多くの行事があり、保護者や地域の方々に支えられたことに感謝いたします。

明日から35日間の夏休みになりますが、交通事故や水難事故等の事故防止に努め、8月25日（木）の前期の後半の全校集会には、47名全員の笑顔に出会えることを楽しみにしています。

校長の話



前期の前半の授業が今日で終わります。始業式には「要田小学校の教育目標」について話をしました。一つ目は「進んで学ぶ子」。毎日の学習の中で自分の意見や考えを持ち、何が大切か考えて行動できましたか？ 二つ目は「思いやりのある子」。いじめのない学校を目指し、チーム要田、みんなで助け合い、協力し合い楽しい学校生活が送れましたか？ また、「あいさつ日本一」に近づけましたか？ 三つ目は「がんばる子」。何事にもあきらめない・投げ出さない・強い気持ちで取り組むことはできましたか？ 「3かん王」＝「関心」＋「感動」＋「感謝」はどうだったでしょうか。

71日間の学校生活の中で一番の思い出は何ですか？「入学式」「1年生を迎える会」「運動会」「様々な校外学習」「七夕集会」「要田事故ゼロパン作戦」、たくさんの行事がありましたね。一つ一つの行事が思い出に残るのは、あなたたちが「関心」を持ち、「感動」し、「ありがとう」の「感謝」の心を忘れていないからではないでしょうか。

明日から始まる「夏休み」は、普段学校でできないことが思いきりできて楽しめる「夏の学校」だと思います。自分のやりたいことを思いきりできる「夏の学校」をつくり、「もっとすてきなぼく」になるために、「もっとすてきなわたし」になるために、今日は、みなさんに「一粒の米」というお話をします。



一粒だけ米びつから米を取りました。減ったことがわかりますか？ 減ったとはわかりませんよね。逆に一粒入れました。増えたことがわかりますか？ 増えたかどうかはわかりませんよね。

しかし、1ヶ月続けたらどうですか？夏休みの35日間続けたらどうでしょう。1年、2年、3年続けると誰が見てもはっきりと米が増えているのか、減っているのかがわかってきます。勉強も運動も挨拶も清掃活動もみんな同じ。勉強で例えると、1日勉強したからすぐに頭がよくなるわけではないですね。1日勉強を怠けたからおバカさんになるのでもないですね。しかし、夏休みの35日間、半年、1年、2年、3年と続ければ、必ず変わってきます。毎日10分でも20分でも30分でも、続けてみませんか。必ず変わっていきます。勉強だけではありません。運動も水泳も同じです。1本1本の練習、「一粒の米」で考えてみてください。今、「わたしは、一粒米を入れているよ。」と言える勉強や練習にして欲しいと思っています。みんなで「一粒の米」を入れ続けたら、すてきな学校になるだろうし、陸上大会や水泳大会で自信を持つことができるのではないのでしょうか。



また、今年の夏休みは、4年に一度の「特別な夏休み」です。「リオオリンピック」（ブラジル）が8月6日から8月22日（日本時間）まで開かれます。輝かしい晴れ舞台に挑む選手たちも、彼らに声援を送る日本中の人々も、それぞれに想いを重ね、二度と訪れない一瞬を、感じて興奮すると思います。校長先生は、水泳、バレー、テニス、陸上（100m）など楽しみにしています。金メダルだけでなく、競技にのぞむ選手の姿から何かを感じ取ってほしいと思っています。

最後です。一番大事なこと。たった一つのいのちを大切にしてください。約束できますか？

「もっとすてきなぼく」になるために、「もっとすてきなわたし」になるために、明日からの「夏の学校35日間」、いろいろなことに挑戦してよい夏休みにして下さい。

8月25日（木）、前期後半の全校集会、みんなそろって元気な顔で会えるよう楽しみにしています。

一粒の米



「止まらいおん」 自分の命は自分で守る！

- ◎ 毎年、楽しい夏休みであるはずが、悲しい事故が絶えません。交通事故・水難事故等、多くの子供たちが犠牲になっています。特に、交通事故（自転車事故）には十分気をつけるようお願いいたします。





陸上競技

水泳

サッカー

テニス

ボート

ホッケー

ボクシング



バレーボール

体操

バスケットボール

レスリング

セーリング



ウェイトリフティング

ハンドボール

自転車

卓球

馬術

フェンシング

柔道



ライフル射撃

クレール射撃

近代五種

カヌー

アーチェリー

バドミントン



トライアスロン

テコンドー

新種目：7人制ラグビー 復活種目：ゴルフ（112年ぶり）
日本時間8月6日 6時：開会式～8月22日 6時：閉会式

★日本オリンピック委員会ホームページ <http://www.joc.or.jp/>

★4年前の「ロンドンオリンピック」の成績。日本のメダリストを振り返ってみましょう。17日間、26競技、302種目を通じて、日本のメダルは金7、銀14、銅17の計38個。メダル総数では過去最多となりました。

金メダルは、日本の女子史上初の3連覇を達成したレスリングの伊調選手や吉田選手、小原選手、米満選手、体操の内村選手、柔道の松本選手、ボクシングの村田選手です。銀メダルは、なでしこサッカー女子、卓球女子団体、バドミントン女子ダブルス、フェンシング男子団体、銅メダルでは、バレーボール女子、アーチェリー女子団体は初めて表彰台に上がることができました。メダルを手にした選手はもちろん、メダルまで手が届かなかった多くの選手からもたくさんの「元気」や「感動」をいただきました。

校長先生は、多くの選手の中で、レスリング女子48kg小原日登美選手の言葉が印象に残っています。

「本当に信じられないです。私ひとりではこの金メダルは獲れなかったですし、みんなで獲った金メダル。たくさんの人に感謝しています。みんなの応援が力になり、マットに立つ時も1人じゃないと、あきらめずに頑張れた。支えてくれたみんなの顔が浮かんだ。みんなに笑顔を見せられることが一番うれしいです。金メダルでみんなに恩返しすることができて良かった。家族にすごく支えられてオリンピックを乗り越えることができました。オリンピックで優勝した実感はまだないんですけど、この舞台に立つことができ、優勝できてうれしい。1ラウンド目を取られ、圧倒されたんですけど、監督、コーチのアドバイスで気持ちを切り替えて2ラウンド目に臨むことができた。どんな時でもあきらめずに頑張れば夢はかなうと思います。みんなにも頑張っ

